

ガンコ親父の

夕食後、松次郎は責代に話しかけた。

「母さん、もうすぐ3月だって、早すぎると思わんか？」
 「歳を取ることに速くなるって言いますからね。そのですか、
 やっぱ、あなたの方が進み具合が速いみたいですね」

物忘れの回数が多くなっていた松次郎はそれを指摘されたような
 気がしてムツとした。この冬は去年から日照時間が少なくて、
 何となく晴れない気分が続いていたところに、妻のこの言葉。
 「速くて悪かったな」

と、松次郎は反射的に言い返し、
 「進みが遅すぎる奴も問題だ」
 とその場にいない学のほうにいらだちを向けた。

「コーヒーカップを受け皿に戻しながら花菜は
 「え、まだ、あなたのお父さんにも会ってない
 のに、結婚式の日取りだけを先に決めるなんて
 ますいんじゃない？」
 と首を傾げた。

「大安の日で日曜日。6月3日がそうなんだ」
 と学は意に介せずと言った感じで言った。
 「シューン・ブライドって、雰囲気じゃん」
 「だけど、それなら3ヶ月少ししかないよ。」
 それも大安の日だなんて、もう式場の予約はいっぱいだわ
 「ふふふ、俺には幸運の神様がついてるんだ」
 と、学の瞳にキラリと光が灯った。

「急にキャンセルが入ったんだって」
 花菜の顔に困惑の表情が浮かんだ。花菜が両親に学と
 松次郎のことを話したのは、つい最近のことだったからである。
 早すぎるのでは…。」

次の週、学は松次郎に内緒で、先に花菜の父親に会いに行った。
 ところが、緊張しすぎたのか、学は花菜の実家入り口でつまずき、
 なんと頭から転けてしまった。
 「大丈夫かい？」

と声がする。目を覚ました学を花菜と父親が覗き込んでいる。
 不覚にも学は居間に寝かされていたのだ。
 やがて脳震とうから回復した学はバツが悪そうに

「花菜さんとケツ、ケツコンさせてもらえないでしようか」
 と花菜の父親に意思を伝えた。しかし、誰だって
 すぐに「OK」を出せるほどの軽い問題ではない。
 溺愛している娘の結婚相手にふさわしいかどうか。
 それに、その親はあのガンコな松次郎だ。
 答えは用意していたものの、父親は迷い、
 考え込んでしまった。沈黙が居間を覆った。

「あの、これお土産なんですが」
 間が持たなくなつた学は、ここぞと
 ばかりに一升瓶の焼酎を差し出した。
 その瞬間、その場の緊張した雰囲気になんごと
 暖かい風が流れ、笑顔が戻って来る。
 「やっぱ、松つあんのお子さんだな。しまっちゆ伝蔵が。
 よし、わかった。一杯やって帰らんか」
 と父親は言った。

「おい、顔ぶつしたんだ？
 酔っぱらって転けたんか？
 彼女にふられてヤケ酒じゃない
 だろうな」
 と額に絆創膏を貼ったまま、
 ふうらふうらと帰宅した学に松次郎が
 声をかけた。
 「親父の息子で良かったよ」
 とボソッと言い残し、
 2階の部屋に上がって行った。

25度
好評発売中



喜界島酒造株式会社
 鹿児島県大島郡喜界町赤連296番地12
 ☎0997(65)0251

2009年10月喜界島は
 「日本で最も美しい村」連合
 に選ばれ、加盟しました。
 喜界島酒造は、この活動を
 応援しています。



900ml (25度)



1800ml (25度)



1800ml (25度)

昔ながらの手造り こだわり焼酎

喜界島の豊沃な大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゆ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのkokoroのある味と香りです。

常圧蒸留

しまっちゆ
伝蔵
でん
ぞう



奄美黒糖焼酎

息子の春に乾杯!

<http://www.kurochu.jp>

お酒は20歳になってから。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児に悪影響を与えるおそれがあります。